

手術説明書

眉下切開 / 眉上切開

この説明書は眉下切開/眉上切開について、その目的・内容・危険性などを説明するものです。ご不明点は何でもおたずね下さい。

☑目的と内容

眉毛下（眉上切開は眉毛上）の余剰皮膚を切除し、縫合致します。デザイン決定後に局所麻酔を注入し、無痛状態が得られてから処置に入ります。電気メスにて丁寧に止血を行い、吸収糸を用いて皮下を緻密に縫合した後、皮膚用接着剤でコーティングします。ご希望や肌状態によっては医師の判断で非吸収糸を用いて縫合しますが、その場合7日～10日後に抜糸が必要となります。なお、抜糸時はお痛みや出血を伴います。処置の所要時間は切除量、手術範囲、出血量などで差が生じますが1時間以内が目安です。

☑危険性

再出血・血腫・感染・創部離開・アレルギー・皮膚壊死・肥厚性瘢痕・ケロイドなど
いずれも発生頻度は極めて低いですが年齢や併存疾患の有無、生活状況などにより個人差があります。

☑手術を行った後の経過と経過中に起こり得る問題

1) 痛み・腫れ・ひきつれ・かゆみ

ほぼ100%生じる症状です。術後1ヶ月で概ね、3ヶ月で自覚症状はなくなる方がほとんどですが、厳密には6か月から1年かけて創傷治癒の過程となります事をご承知下さい。

2) 硬結

部分的に、しこりの様に触れる事がございますが経過と共に柔らかく落ち着いていきます。

3) 左右差

元々左右差は多かれ少なかれございます。元の左右差を目立たなくする様に施術を致しますが、完全に消失させる事は不可能ですのでご注意ください。

4) 赤み・傷跡

赤みは3～4週で落ち着くことが多いです。体質によっては、色素沈着が生じることがあります。できる限り傷跡が目立ちにくくなる様に施術をいたしますが、最終的に白い線状の跡が生涯残ります。

5) 二重幅や眉毛位置の変化

眉下部分の皮膚を切除する為、二重幅が広がり、浅くなります。また、眉毛位置が術前よりも下がった印象となります。

6) 眉毛の脱毛

毛根を残した切除法を用いますが、部分的に眉毛が生えなくなる場合もございます。

7) 余剰皮膚の残存

一度の眉下切開単独で切除できる皮膚には限界がございます。腫れが落ち着いた時点でたるみ感が残存する場合は、追加切除や二重埋没などの手術を検討します。(料金別途)

☑注意事項

下記にあてはまる方は事前にお申し出頂いております。休薬が必要なものに関しましては手術日までにかかりつけ医に調整をお願いして下さい。当日の体調によっては手術を中止と致します。

- 1) 妊娠・授乳中の方、妊娠の可能性がある
- 2) これまで歯科の麻酔や局所麻酔でアレルギー症状があった
- 3) ヨード液の消毒でアレルギー症状があった
- 4) 現在治療中、服薬中の疾患がある
- 5) 抗凝固剤、抗血小板薬(ワーファリン、アスピリン、イグザレクト、バイアスピリン、プラビックス、エパデール等)を服用している
- 6) 心臓病、糖尿病、便秘症、緑内障、脳梗塞、人工透析、高血圧症で治療、服用している

☑手術後の生活について(下記は参考です。その他個別にも配慮致しますのでご相談下さい。)

シャワー・洗顔・入浴	当日より可能 ※術後~1週間、長湯は控えましょう
眉毛部分のメイク	患部の痛みが無ければ当日からでも可能 (抜糸ありの場合は抜糸後から可能)
ホームケア	術後1年間はワセリンで保湿を行なってください。 術後数ヶ月は紫外線対策を推奨いたします。 ・ <u>医療用ボンドはご自身で剥がさないでください。</u> ・ <u>傷跡用のお薬・個人輸入薬等は使用しないでください。</u> ※仕上がりに影響を及ぼす可能性があります。
顔のマッサージ・ピーリング	術後~1ヶ月控えていただく。
飲酒・喫煙	術後~1ヶ月控えていただく。
サウナや激しい運動	術後~1ヶ月控えていただく。
コンタクトレンズ	直後より可能

☑偶発症発生時の対応

アナフィラキシーショック等、偶発症が発生した際には最善の処置を行います。医師が救急搬送を要すると判断した場合には直ちに救急要請を行います。なお、他院で生じた医療費は患者様のご負担となります。

☑同意撤回

一度同意書を提出しても、手術が開始されるまでは手術をとりやめる事ができます。とりやめる場合にはご連絡をお願い致します。ご予約のキャンセルに関しましてのルールはキャンセルポリシーに準じます。

キャンセル可能期間中のキャンセル:無料受付

キャンセル可能期間を過ぎてのキャンセル:施術+診察料の100%の料金をご請求させていただきます。

※天災やその他、証明書が発行されるご事情によるキャンセルである場合、料金は頂きません。